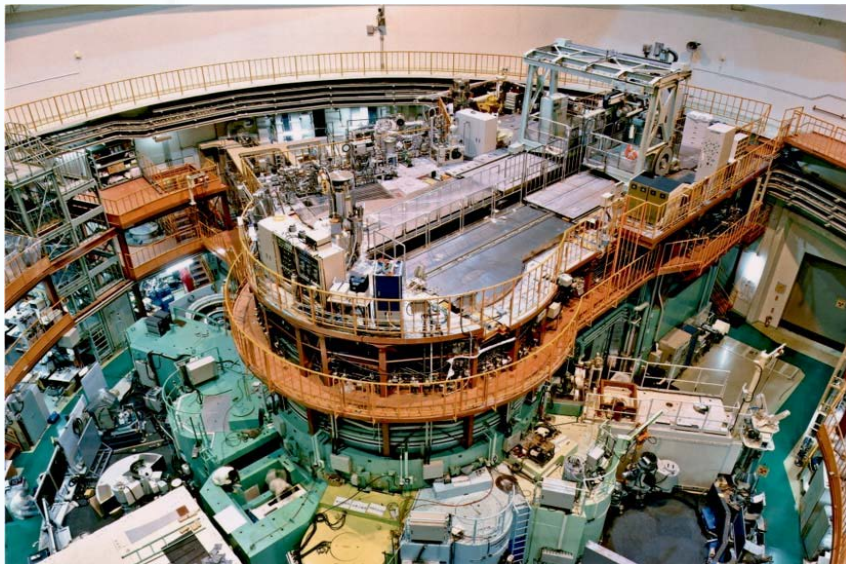


研究炉JRR-3の今後と現状



日本原子力研究開発機構
物質科学研究センター
酒井 卓郎、飯倉 寛*、松林 政仁

* MEXT派遣中

一番の関心事は、いつ再稼働するのか？

⇒ JRR-3の運転再開に向けての取り組み状況

- ・平成28年6月13日 [JRR-3の新規制基準適合確認への取り組み状況について](#)
- ・平成27年10月23日 [JRR-3の新規制基準適合確認への取り組み状況について](#)
- ・平成27年2月3日 [JRR-3の運転再開に向けての取り組み状況について](#)

2017.12.27現在

JRR-3の新規制基準適合確認への取り組み状況について

平成28年6月13日

平素よりJRR-3施設供用に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
JRR-3では、既にお知らせしたとおり、平成23年3月の東日本大震災以後、被災箇所
の補修、全施設の健全性確認を平成25年2月までに終え、再稼働に向けて、平成26年9
月に試験研究炉の新規制基準への適合確認のための原子炉設置変更許可を申請しまし
た。

弊機構といたしましては、JRR-3の再稼働の遅れが我が国の中性子を利用した学術研
究や産業利用及び人材育成の停滞を招いていること、また、利用者の皆様からも早期再稼
働が強く要望されていること等を重く受け止め、早期の再稼働を目指し、鋭意取り組んでい
るところです。

今回の新規制基準のポイントは、最新の知見に基づいた①大量の放射性物質の放出事
故への対策、②竜巻などの自然現象や火災への防護、③基準地震動の策定及び耐震安
全性の3点です。これまでの審査で、①及び②に対しては、基準の適用に関する考え方が
合意され、具体的な対策について説明を開始しています。また、③に対しては、基準地震
動策定に必要な項目のうちプレート間地震や海洋プレート内地震などの審査を概ね終える
など、順調に審査対応を進めています。また、今後、基準地震動に基づき施設の耐震安
性を示すこととなります。

上記のように、設置変更許可取得の見通しは得られつつあります。しかし、設工認(耐震
安全性に係る審査など)や施設定期検査などの後続規制対応になお時間を要すると思わ
れることから、JRR-3の再稼働時期は平成29年度末となる見通しです。前回のご報告から
時間が経過し、利用者の皆さまにご心配いただいていることから、このたび改めて審査の現
状報告をすることいたしました。引き続き、JRR-3の再稼働に向けた取り組みに対し、ご理
解賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所 原子力科学研究所
研究炉加速器管理部長 村山 洋二

昨年6月の時点では、平成29年度末に再稼働の予定
けれども、あと3ヶ月・・・

JRR-4, JMTRとは異なり、JAEA上層部はJRR-3再稼働
の意思を明確に示している！

再稼働した場合は、いままで通り使えるのか？

機器等の点検後異常が無ければ、今まで通り供用利用を開始
(たぶん、1～2サイクル後)

ただし、従来よりは制約が大きくなると思われる

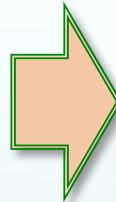
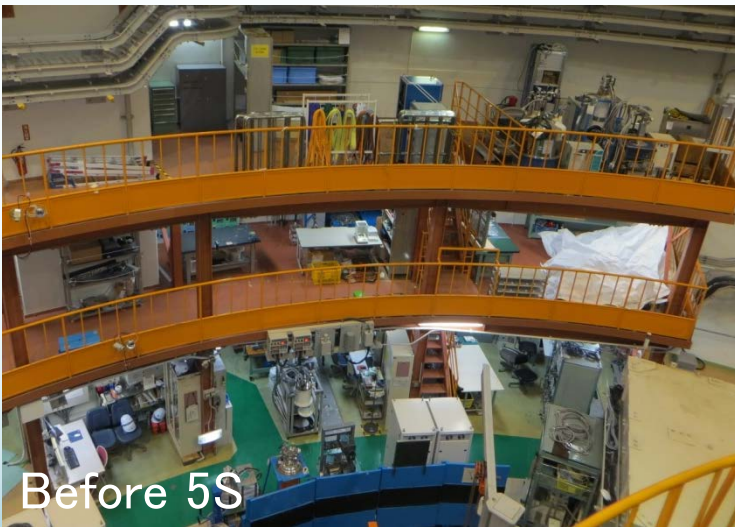
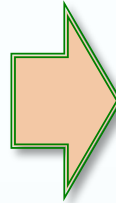
例えば、

- ・炉室内への可燃物・危険物の持ち込み制限
- ・安全審査や常時立ち入り者証発行の厳格化
- ・マンパワーの不足

- ✓2010年度の定期検査中に、大震災発生
- ✓物理的な損傷は軽微、復旧済
- ✓新規制基準下での早期運転再開を目指し、環境整備中



- 技術スタッフに現場の研究者を加え、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）活動を実施
 - 炉室／ビームホール内の可燃物や不要物の撤去
- 現場の実験機器の動作確認
- 安全な実験環境の整備
 - ユーザへの教育の徹底
 - 試料や実験機器のデータベース化
 - 試料／薬品のリスクアセスメント実施の義務化



床が見えるようになった！



Before 5S



After 5S



新たな保管スペースへ移動



- 可燃部／不要物の搬出
- 物品保管場所／一時置き場を整備
- 整理、整頓、清掃を定期的実施

最期に

我々研究者、技術スタッフ他、JRR-3の再稼働を目指し、日々活動を続けています。

ユーザーの皆様からの支援や熱い思いは、再稼働への後押しになります。今後ともご協力・ご支援をお願いします。